



自然の凄まじさを実感、臨機応変に作業。みんなが集う「ゆとりの森」再現目指して!!  
~当初の計画だった森林整備は、後日、有志で行う事に。会報にてご案内致します。是非ご参加下さい~



今回の例会の場所となったゆとりの森は、私がもりメイト倶楽部に入会して初めて参加した例会の場所でもあり、この場にまた来ることをとても楽しみにしていました。

12日頃から降り続いた大雨で、ゆとりの森も被害を受けた話は耳にしていたのですが、当日現地に到着し、土砂が流れ込んでいたり流木がたくさんあったりという状況を実際に目の当たりにして、自然の恐ろしさを改めて実感しました。それと同時に、この状況を少しでも良くして、また元のゆとりの森の状態に戻ってほしいと強く思いました。

当初の予定は、新入会員を歓迎するwelcome例会とし、山頂付近の伐木と山頂に向かう途中の階段作りをする中で、技術を教え合う事を目的とする内容でした。しかし、急遽内容を変更、災害支援をメインとして実施する事となりました。当日は数名の欠席もありましたが、山本明芳さんと吉村智宏さんが初めて参加され、作業を共にしました。

雨が強まったり弱まったりを繰り返す中、朝のミーティングが始まり、山本理事長から今回の例会を開催するに至るまでの経緯などのお話があり、藤原班長から作業内容の説明がありました。

**A班**は登山道入り口付近の階段作り。**B班**は料理担当と炊飯棟床まで上がった土砂の掻き出し。**C班**と**E班**は、池に流れ込んだ流木の撤去。**D班**は山頂付近の階段作りと、5グループに別れ作業をしました。

流木や土砂は重機やクローラードンプ(林内作業車)、チェーンソーなどの活躍もあり、きれいに撤去することができました。階段作りの方は、雨で斜面が滑りやすく苦労されたようですが、事故なく無事に終えることができました。

午前中で作業を終了とし、お昼はオーナーの沖野さんのご厚意により羽釜で炊き上げた「おにぎり」と「しし汁」「しし肉」をいただきました。ひと仕事した後のしし汁は最高に美味しかったです。

終わりのミーティングでは、グループごとに反省会を持った後、作業報告を出し合いました。

沖野さんからは、『このような状況の中で作業していただきほんとにありがとうございます。これからもよろしく願います』と、ご挨拶いただきました。初参加の吉村さんからは『また次回も森に携わる活動に参加したい』と、前向きな発言もありました。

今回の例会は断続的に雨の降る中、作業内容の変更など指示が二転三転する場面がありましたが、その中でもお互いに意見を出し合い、最適な方法を選択しながら、臨機応変に作業を進められていたのが、非常に良かったと感じました。

私自身も今回の経験を今後の活動に活かしていきたいと思えます。



1)なぎ倒された木々と岩で埋まるグランドゴルフ場 2)メイン施設の炊飯棟の土砂を掻き出す 3)クローラードンプと一輪車で土砂を運搬。  
4)土砂で埋もれた水車小屋 5)作業車で池に流れた流木を撤去 6)遊歩道に階段設置 7)夏はプールになっていた被災前の池の姿